

泉地域包括支援センター

リンデンバウム便り

発行：泉地域包括支援センター

リンデンバウム

〒010-0817

秋田市泉菅野二丁目 17 番 11 号

TEL 896-5960 FAX 864-3006

E-mail : izumi-houkatsu@pure.ocn.ne.jp



泉社会福祉士から

成年後見制度について



認知症のはなこさんの例

はなこさんは、数年前から認知症の症状がありました。ある日、県外に住む息子のたろうさんが、家を訪ねると買取業者の書類が置いてあるのに気付きました。「これはどうしたの？」と尋ねると、はなこさんは「よく分からないけど、親切なお兄ちゃんが来て、『いらないもの何でも買い取りますよ』と言って食器や履いていない靴など色々持って行ってくれた」とのことです。指輪や宝石といった貴金属類も渡したようです。しかし、領収証に書いてある額は、とても正当な評価額とは思えないものでした。

たろうさんは、消費者センターに相談して、なんとかクーリングオフの手続きを取ることができましたが、今後はなこさんの認知症が進んでいくと、またこのような契約をしてしまうのではないかと、とても不安になりました。

そんな時、民生委員さんから地域包括支援センターを紹介され、不必要な契約を取り消したり、預貯金や年金の管理など、はなこさんの財産をきちんと守ってもらえる成年後見制度という仕組みがあることを聞きました。

成年後見制度とは？？

認知症や障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない方について、ご本人の権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことで、ご本人を法律的に支援する制度です。

2種類あります

- ① 「法定後見制度」 判断能力が不十分な方を支援する
- ② 「任意後見制度」 現在判断能力が十分にある方が、将来に備えて契約する

～はなこさんの場合は、法定後見制度の対象になります。

★★★★★★★★★★★★★★他にもこんな方々が、実際に制度利用しております★★★★★★★★★★★★★★

○一人暮らしで認知症発症。頻繁に、銀行に行き高額な金額をおろしてくる。おろしてもすぐに忘れて、再度おろすことを繰り返す。また、通帳や印鑑を何度も失くし、銀行で再発行を繰り返す。

○一人暮らしで認知症発症。身寄りも無く、判断能力の低下により、契約行為や金銭管理が困難になる。

○一人暮らしで認知症発症。娘が遠方にいるが、事情があり帰省できず。理解力、判断能力が低下し近隣とコミュニケーションが図れず孤立。

★★

包括では、制度利用が必要な方やご家族等に対して、制度説明をしたり利用に繋がるよう医療機関や専門機関と連携し支援します。気になる方は、お気軽にご連絡ください。





金野主任介護支援専門員
から

非常食と災害食の違いは？

7/18（金）に「災害時の食事」をテーマに、「かだるベカフェ」を開催しました。ケアマネジャーの方々と共に、水で戻したカップ麺を試食しました。有限会社 セイショウ 様、株式会社 明治 様よりご協力いただき「まるごと野菜」や長期間保存可能な「なめらかとうふ」「メイバランス」などの試食もさせていただきました。

災害発生時の食事は非常食（特別な備蓄）としてエネルギーを必要とするため炭水化物（アルファ米、乾パン、缶詰等）中心になりがちです。避難生活が長引いたとき必要となるのがタンパク質やミネラルを補給できる災害食（普段使いの延長）（レトルト食品、カップ麺等）となります。火が使えない状況を想定し、カップ麺を水で20分戻すと、普通に食べられました。レトルト食品もそのまま十分美味しくいただきました。自然災害が多いこの頃です。

ご興味がありましたら一度試してみてもはいかがでしょうか(^^)／



佐々木保健師から

地域型はつらつくらぶが始まりました

地域型はつらつくらぶは、運動器の機能向上など介護予防一般に関する知識の普及啓発を行い、心身の状態の悪化を予防し、健康でいきいきとした生活を支援することを目的として実施しています。今年度は1クール目と2クール目に分かれ、12月から開始する2クール目の参加者を募集中です。ぜひお問い合わせください。

実施日：12/8、12/22、1/5、1/19、2/2、2/16（全て月曜日）10：00～11：30

会 場：ウエルビューいずみ交流プラザ

対 象：主に泉・保戸野地区在住の65歳以上の方

参加費：無料

申し込み、お問い合わせ：

泉地域包括支援センターリンデンバウム

電話：896-5960、FAX：864-3006

e-mail：izumi-houkatsu@pure.ocn.ne.jp



今年度開催の様子

編集後記
先日、「外出がもたらす心身の健康」というパンフレットを手にする機会がありました。その中に、ウォーキングに関する興味深い調査結果が載っていたので、ご紹介したいと思います。
調査によると、1日5000歩以上歩き、そのうち7.5分の速歩きを取り入れることで、認知症の予防に効果が期待できるそうです。ただ、歩きすぎると体に負担がかかることもあるため、歩数だけでなく「速歩きの時間」がポイントになるとのこと。日々の健康づくりのヒントになればうれしいです。
（佐々木）